

証券コード 6470

 **大豊工業株式会社**

2010年度 第105期

中間報告書

2010.4.1~2010.9.30



CONTENTS

連結業績ハイライト／株主の皆さまへ
グローバル展開2010
開発力と生産能力を強化／CSR
決算概要
株式概況／会社概況

連結業績ハイライト

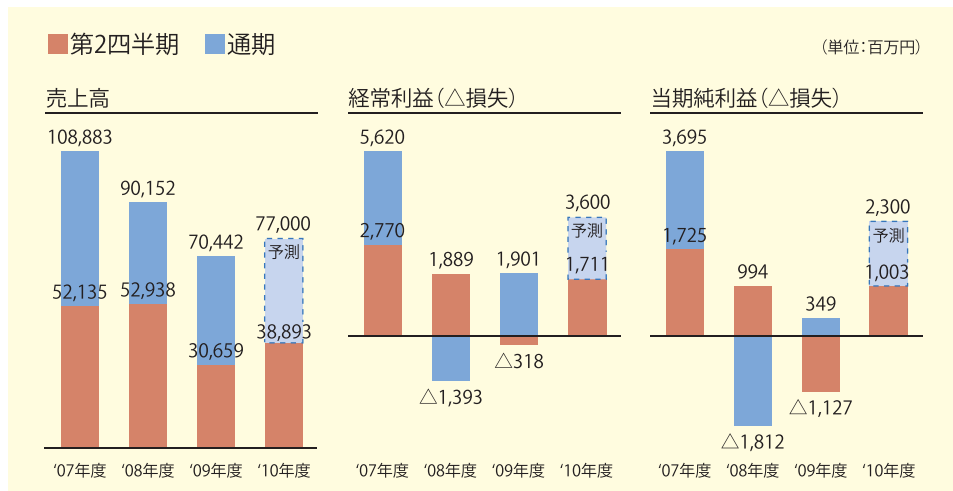
Financial Highlight

第2四半期実績

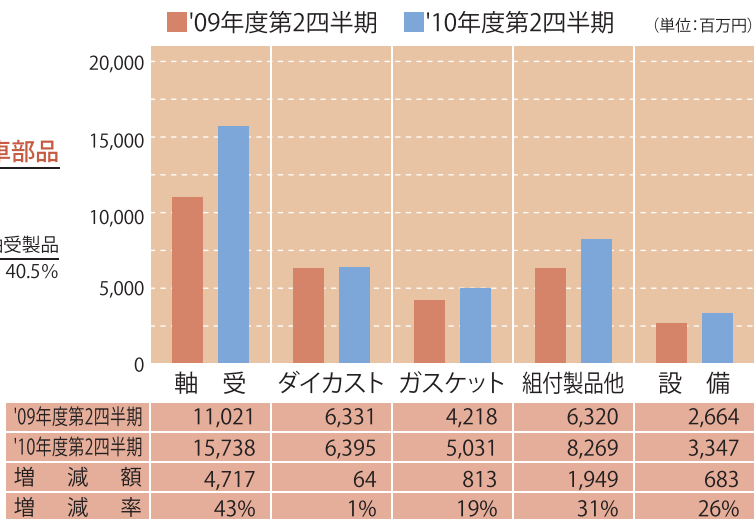
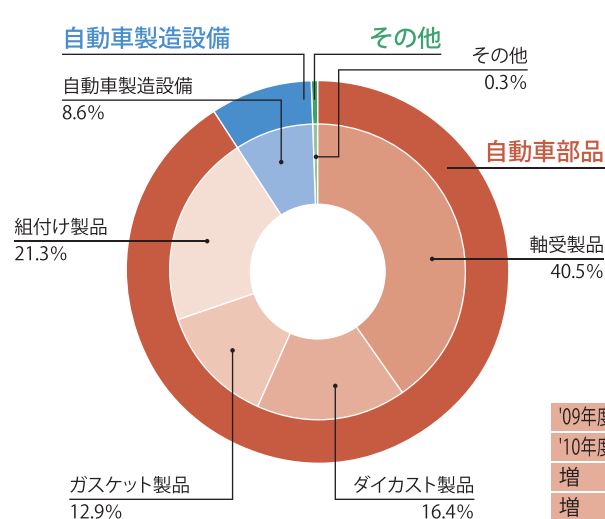
- 売上高 388億円
- 経常利益 17億円
- 純利益 10億円

通期予想

- 売上高 770億円
- 経常利益 36億円
- 純利益 23億円



事業別売上高



株主の皆さまへ

To Stockholders

ビジョンの実現に向けて

株主の皆さまには、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。2011年3月期の中間報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

株主さまの一貫したご支援のもと、2010年3月期に黒字転換が実現できました。ご支援に対しあらためて御礼申し上げます。前期の業績を受けて、2011年3月期は更なる収益回復を目指しておりますが、足下の円独歩高の影響で回復は今一步と言えます。今中間期では、おおむね年度計画に沿った業績をご報告できますが、下期の売上と収益は共に予断を許さない状況にあります。引き続き、収益改善、拡販活動を進めてまいります。

自動車市場の変化を見ますと、欧米先進国市場の停滞、中国市場の続伸、アジア新興国市場の拡大が顕著に現れております。このような市場要求に応えるべく、当社では昨年中国の大豊工

業(煙台)有限公司へのめっきライン設置に続き、軸受を中心とした海外での生産設備増強と販路拡大を進めてまいります。

さて、当社では昨年設定したVISION2015の実現に向けた活動として、エンジン軸受新工法の開発、既設ラインのシンプルスリム化、システム部品であるバキュームポンプやEGRバルブの機能向上と拡販、ダイカスト技術の刷新や新規部品の開拓、大豊岐阜株式会社への生産設備集約と新ライン設置等を進めております。これらの活動を進めるにあたり、本年の1月と7月には社内組織のスリム化を実施、意思決定とプロジェクト編成の迅速化を図っております。また、大豊グループ各社の機能連携を強め、自動車の変化に対応した開発や生産能力の向上を進めてまいります。

ビジョン実現に向けた活動の成果は、2011年以降順次表れてくると考えております。ビジョン実現までには多くの難局が予想されます。株主さまには、引き続きご支持・ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2010年11月
代表取締役社長 上田建仁

会社方針

中期経営計画 (2009~2011年度)

- 中期経営方針
基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍
- スローガン
基本にかえり、未来を創造



グローバル展開2010

Global Expansion 2010

2008年のリーマン・ショック以降、迷走する国内外の自動車産業においてカーメーカー再編や新興国の台頭などマーケットは大きく変化、新たな海外市場への期待が高まっています。

当社ではこれを好機と捉え、新製品開発、製法の刷新、グループ会社のネットワーク強化などで競争力を強化し、来るべき次世代の自動車産業への対応を進めています。

細谷工場をマザー工場に「グローバルライン」を確立する

当社のコア製品であるエンジンベアリングの生産工程を刷新し、設備投資の半減と生産効率の向上で生産コストの大幅削減を実現する新ラインを2011年度の細谷工場導入を目指して開発を進めています。

エンジンベアリング生産のマザー工場としての役割を担う細谷工場でその効果を確認し確かなものとした上で「グローバルライン」として、中国やインドネシアといった新興国にある大豊グループの生産拠点に導入、価格競争力を向上させます。



エンジンベアリング生産のマザー工場となる細谷工場



新規生産ラインの導入が予定されている中国の大豊工業(煙台)有限公司(TCY)

米国における市場変化にもフレキシブルに対応、タイホウコーポレーション オブ アメリカ(TCA)ではエンジンベアリング生産力強化のため、新たにプレス機を導入するなど、現地の需要に適した生産体制を構築していきます。



生産設備強化を予定している米国のタイホウコーポレーション オブ アメリカ(TCA)

これら製造技術開発にはグループ会社の大豊精機株式会社や株式会社ティーイーティーが深くかかわっています。

新アイテムで「新市場」「新規顧客」を開拓する

新興国の市場動向と生産拠点としての位置づけは今後の自動車産業の行方を大きく左右する要素といえます。

当社では中国、韓国、タイ、インドネシアにあるグループ会社の生産拠点が連携して日系自動車メーカーはもとより、世界各国の自動車メーカーや部品メーカーなど自動車関連企業に向けて大豊製品の販売を強化していきます。

すでに、当社で開発した五元めっきオーバレイ付エンジンベアリングを大豊工業(煙台)有限公司(TCY)で生産、タイホウコーポレーション オブ アメリカ(TCA)を経由して米国の大手エンジンメーカーへの納入が始まりました。

このエンジンメーカーは当社としては新規顧客で、今後大型ディーゼル



米国エンジンメーカー向けの大豊工業(煙台)有限公司(TCY)で生産された大型ディーゼル用エンジンベアリング

エンジン分野における顧客開拓を進めていきます。

さらに、組付フランジ付エンジンベアリングの生産を細谷工場を開始しました。

欧州ではこの方式のエンジンベアリングを採用する自動車メーカーが多く、今後の拡販が期待できる製品です。



組付フランジ付エンジンベアリング

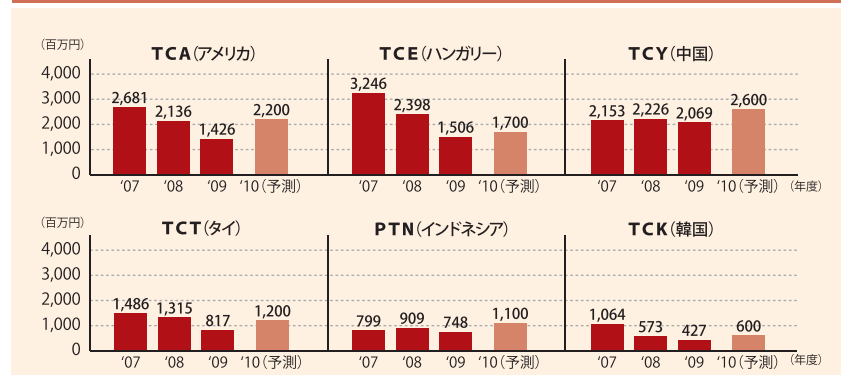
このエンジンベアリングは、ジャーナル軸受(メインベアリング)にスラスト軸受(クランクワッシャ)をカシメて一体化したもので、すでに欧州の大手自動車メーカーが製造する高性能エンジンに採用されています。

国内メーカーに対してもエンジンの開発に合わせ新規顧客へアプローチ、新型エンジン向けコンロッドベアリングの納入が始まっています。

グローバルネットワークを強化する大豊グループの生産拠点



主な海外拠点の売上高推移



開発力と生産能力を強化

Strengthen Development power and Production capacity

大豊工業(株)／技術部門 「先行開発で技術提案」

当社の技術開発部門では、「一歩先を見据えた開発」を常に意識し顧客への技術提案力を強化しています。

- 環境負荷物質の規制動向を捉えながらの材料開発。
- 省エネ、CO₂削減に寄与する製品の開発による環境への貢献。
- 生産活動で使用するエネルギー、化学物質、発生する廃棄物、熱、騒音などをミニマムにするための製品設計、生産設備・工程設計、作業の事前検討の実施。
- 予測される環境変化に対応できる研究開発の推進。

上記基本方針のもと、次世代の自動車に要求されると思われる新機能・新機構を中心に、リサーチ・基礎的研究を含め独自の発想でさまざまな方面から先行開発を進めています。



先行開発による試作品の数々

すでにUS10などの排ガス規制に対応したEGRバルブ、新機構付きエンジン向けバキュームポンプなど機能部品の生産が始まっています。

これらの成果に関して、客先へ出向いてのプレゼンテーションや、技術者向けオープンイベントに出展するなど、積極的なPR活動を行っています。



当社独自の最新技術を積極的にPR

大豊岐阜(株) 「軸受の生産能力を強化」

大豊岐阜株式会社では軸受の生産・品質管理体制を強化し細谷工場から順次生産を移管、今後さらに、新規軸受、樹脂コーティング軸受の生産能力を強化していきます。これにより細谷工場ではスペース的なゆとりができ、生産ラインの整理化・コンパクト化など次世代の生産技術・ラインの開発スピードを加速することができました。



細谷工場と同等の生産能力・品質を確保した大豊岐阜(株)

日本ガasket(株) 「技術部門を本社に集約」

日本ガasket株式会社では本社敷地内に「開発棟」を新設、さらに当社細谷の技術本館で活動していた「技術センター」を同社の本社本館へ移転しました。

開発棟には「試作・評価ゾーン」を、本館1Fには「精密試験室」を、2Fには「設計・開発部門」を配置、今まで以上にスピーディーで効率の良い技術開発体制が整いました。



日本ガasket(株)本社本館(手前)と開発棟(奥)

製品と生産の2軸で取り組む 地球環境保護

エネルギー問題、地球温暖化問題、化学物質管理など、製造会社において地球環境保護への取り組みはますます重要になっており、当社では、製品と生産の2軸で環境改善に取り組んでいます。

製品では、CO₂低減・燃費改善に大きく寄与する低摩擦軸受製品や排気ガス浄化デバイスを積極的に展開するとともに、生産分野でのエネルギー低減・CO₂低減を行っています。

今年度は特に、地球温暖化防止の為にCO₂排出量を極力抑えた生産活動に重点を置いて活動しています。

ISO14001全社統合システムと グリーン調達ガイドライン

1999年より、事業場単位でISO14001認証取得を推進してきました。さらに効率の良いシステムを目指し、2004年度からは全社統合システムとして認証を取得し運用、2009年度には国内グループ会社である大豊岐阜株式会社も認証を取得し、全社統合システムに加わりました。

大豊グループのISO14001認証の履歴

事業場	認証取得年
細谷工場／技術開発部門	1999/12
篠原工場	2000/12
幸海工場	2000/12
九州工場	2002/1
日本ガasket(株)	2002/5
本社/本社工場	2002/12
大豊精機(株)	2003/2
(株)ティーイーティー	2006/12
(株)タイホウパーツセンター	2009/1
大豊岐阜(株)	2009/12

社名	認証取得年
タイホウコーポレーションオブアメリカ	2000/5
タイホウコーポレーションオブヨーロッパ(有)	2004/2
タイホウタイランド(株)	2005/1
韓国大豊(株)	2005/7
タイホウマサンタラ(株)	2006/3

仕入先に対しても、2008年4月に「グリーン調達ガイドライン」を策定し、これに基づき環境保護に関する重点取り組みを促してきました。その結果、主要仕入先13社中11社がISO14001またはエコアクション(EA)21の外部認証を取得することができ、今後も展開仕入れ先を拡大していきます。

CSR

Corporate Social Responsibility

当社ならではの社会貢献で 「子供の創造性」を育てる

発足29年になる「豊田少年少女発明クラブ」の初代理事長には当社第4代社長の大塚隆之氏が就任、現在でも当社第6代社長の神保昇二氏が理事長を引き継ぎ、社員の数名が運営や指導に携わるなど、子供たちに科学技術の楽しさを伝える活動を推進しています。



豊田少年少女発明クラブで指導に当たる当社社員

近年では社団法人自動車技術会が主催する体験型学習イベント「キッズエンジニア」にも参加、「楽しく学ぼう“まさつ”のふしぎ」というプログラムをつくり、当社社員が講師となり摩擦現象体験の場を子供たちに提供しています。

これらは、技術重視の当社ならではの社会貢献といえます。



キッズエンジニアで講師をつとめる当社社員

決算概要

Financial Statements

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期連結会計期間末 2010年9月30日	前連結会計年度末 2010年3月31日
【資産の部】		
流動資産	39,049	38,053
現金及び預金	15,814	14,677
受取手形及び売掛金	14,636	15,105
有価証券	475	474
たな卸資産	5,470	5,501
繰延税金資産	1,021	1,020
その他	1,644	1,285
貸倒引当金	△13	△11
固定資産	46,608	49,473
有形固定資産	41,502	43,987
建物及び構築物	10,731	11,057
機械装置及び運搬具	16,099	16,240
土地	12,687	12,729
建設仮勘定	1,151	3,049
その他	832	909
無形固定資産	603	648
投資その他の資産	4,502	4,838
合計	85,657	87,527

科目	当第2四半期連結会計期間末 2010年9月30日	前連結会計年度末 2010年3月31日
【負債の部】		
流動負債	25,380	24,570
支払手形及び買掛金	10,087	10,402
短期借入金	699	1,000
1年内償還予定の社債	5,999	5,999
未払費用	3,733	3,651
その他	4,861	3,516
固定負債	17,204	19,945
長期借入金	14,322	16,709
退職給付引当金	1,573	1,794
その他	1,308	1,442
負債合計	42,585	44,516
【純資産の部】		
株主資本	44,263	43,597
資本金	6,193	6,193
資本剰余金	9,662	9,662
利益剰余金	28,596	27,930
自己株式	△189	△189
評価・換算差額等	△1,621	△996
その他有価証券評価差額金	268	237
為替換算調整勘定	△1,890	△1,234
新株予約権	86	87
少数株主持分	343	322
純資産合計	43,072	43,010
合計	85,657	87,527

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
売上高	38,893	30,659
売上原価	32,136	26,679
販売費及び一般管理費	5,157	4,560
営業利益	1,600	△580
営業外収益	477	516
営業外費用	366	254
経常利益	1,711	△318
特別利益	53	13
特別損失	458	20
税金等調整前四半期純利益	1,306	△326
法人税、住民税及び事業税	390	139
法人税等調整額	△119	659
少数株主損益調整前四半期純利益	1,035	-
少数株主利益	32	2
四半期純利益又は純損失	1,003	△1,127

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,431	2,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△479	△1,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	4,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△265	154
現金及び現金同等物の増減額	1,658	5,927
現金及び現金同等物の期首残高	13,641	10,449
現金及び現金同等物の期末残高	15,300	16,376

中間配当金

2010年10月28日開催の取締役会において、2010年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対して行う中間配当金につき、次のとおり決議しました。

①中間配当金

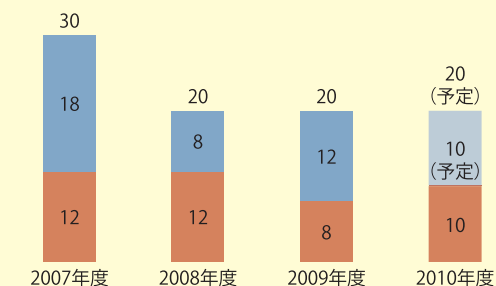
1株につき10円

②効力発生日ならびに支払開始日

2010年11月26日

1株当たり年間配当金

■ 中間配当金 ■ 期末配当金 (単位:円)



株式概況 (2010年9月30日現在)

Stock Information

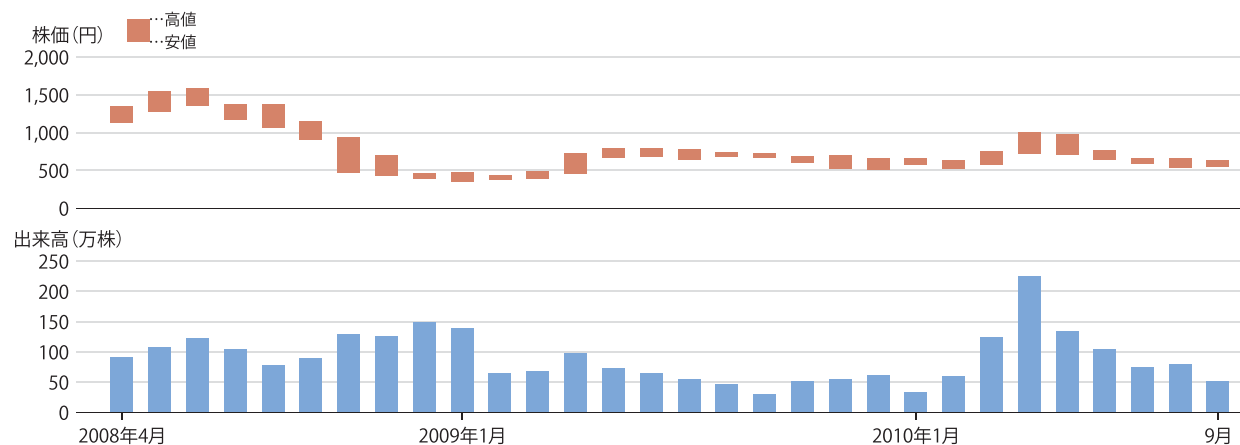
株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	28,222千株
株主数	4,743名

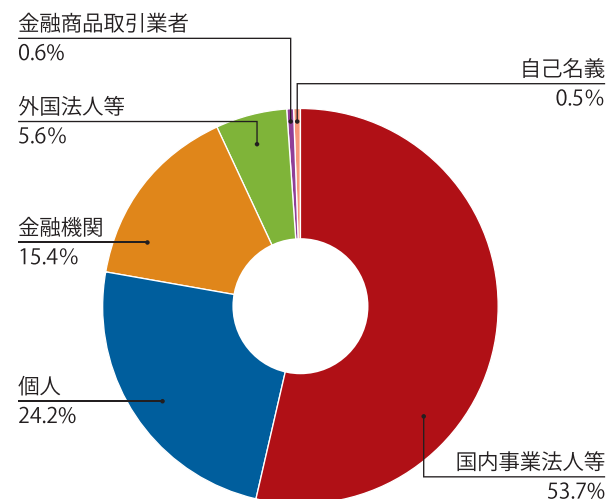
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,070
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	660
大豊工業従業員持株会	523
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	438
野々山 秀夫	305
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	294

株価の推移



所有者別株式分布状況



会社概況 (2010年9月30日現在)

Corporate Profile

会社概要

創業	1944年1月
資本金	61億9千3百万円
従業員数	連結:3,507名 単独:1,738名
本社所在地	〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65 TEL (0565) 28-2225(代表)
事業内容	軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品 組付製品他、精密金型 上記の製造および販売

事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)
細谷工場(愛知県豊田市)
篠原工場(愛知県豊田市)
九州工場(鹿児島県出水市)
幸海工場(愛知県豊田市)
東京営業所(東京都中央区)
大阪営業所(大阪府大阪市)
デュッセルドルフ事務所(ドイツ)

国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)
株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)
株式会社タイホウライフサービス(愛知県豊田市)
株式会社タイホウテクノサービス(愛知県豊田市)
日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)
株式会社タイホウパーツセンター(岐阜県土岐市)
大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡)

主な海外子会社

タイホウ コーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)
タイホウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)
タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社(ハンガリー)
韓国大豊株式会社(韓国)
大豊工業(煙台)有限公司(中国)
タイホウ タイランド株式会社(タイ)

役員

代表取締役社長	上田 建仁
代表取締役副社長	河合 弘義
代表取締役副社長	天野 利紀
専務取締役	斎藤 和幸
専務取締役	山崎 謙一
専務取締役	河野 文隆
常務取締役	近藤 隆彦
常務取締役	川上 真也
取締役	島崎 敬一
取締役	神谷 荘司
取締役	佐藤 英知
取締役	柴田 兼次
取締役	河合 信夫
取締役	佐藤 光俊
取締役	大河内 光人
取締役	松野 雅廣
常勤監査役	野々山 秀夫
常勤監査役	安藤 公夫
監査役	井上 洋一
監査役	安田 益生

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **大豊工業株式会社**

お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 総務部広報室